交姦

～エルフの王女になったオークの物語～

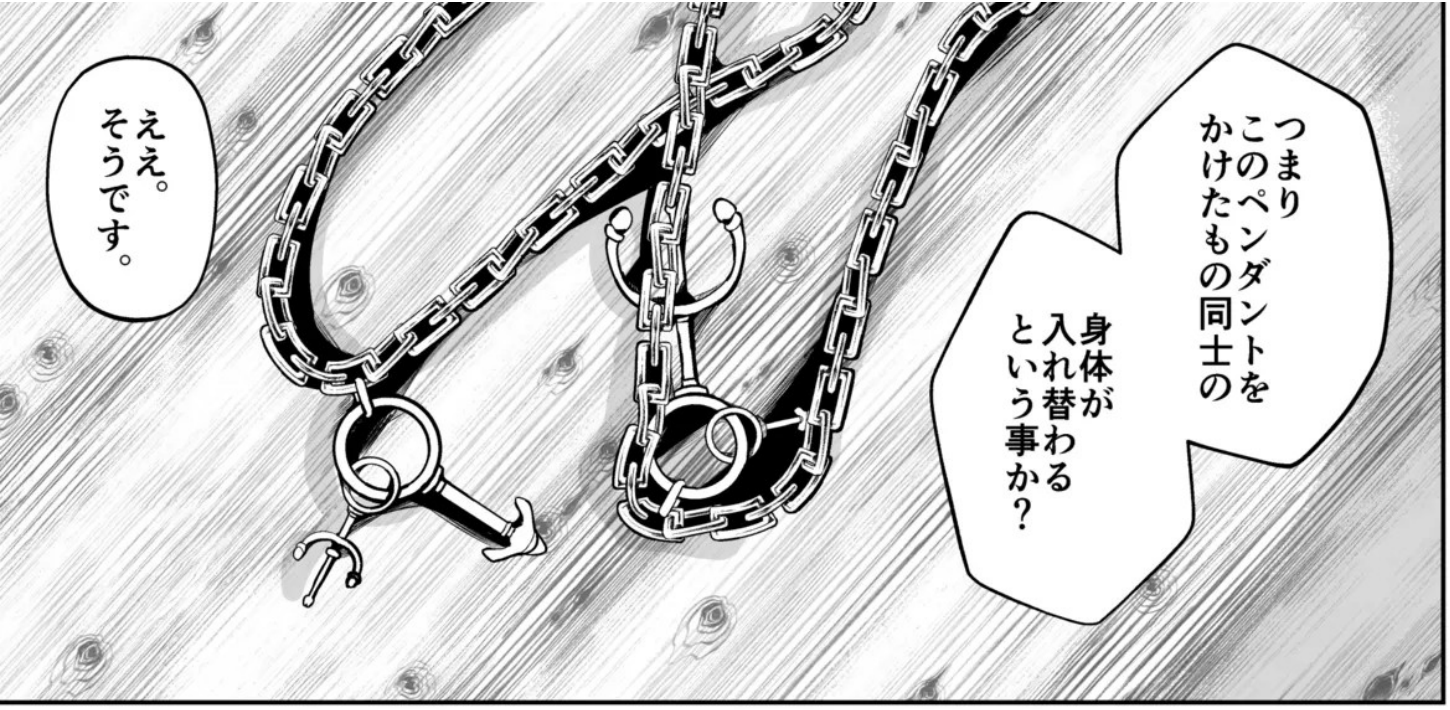


DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

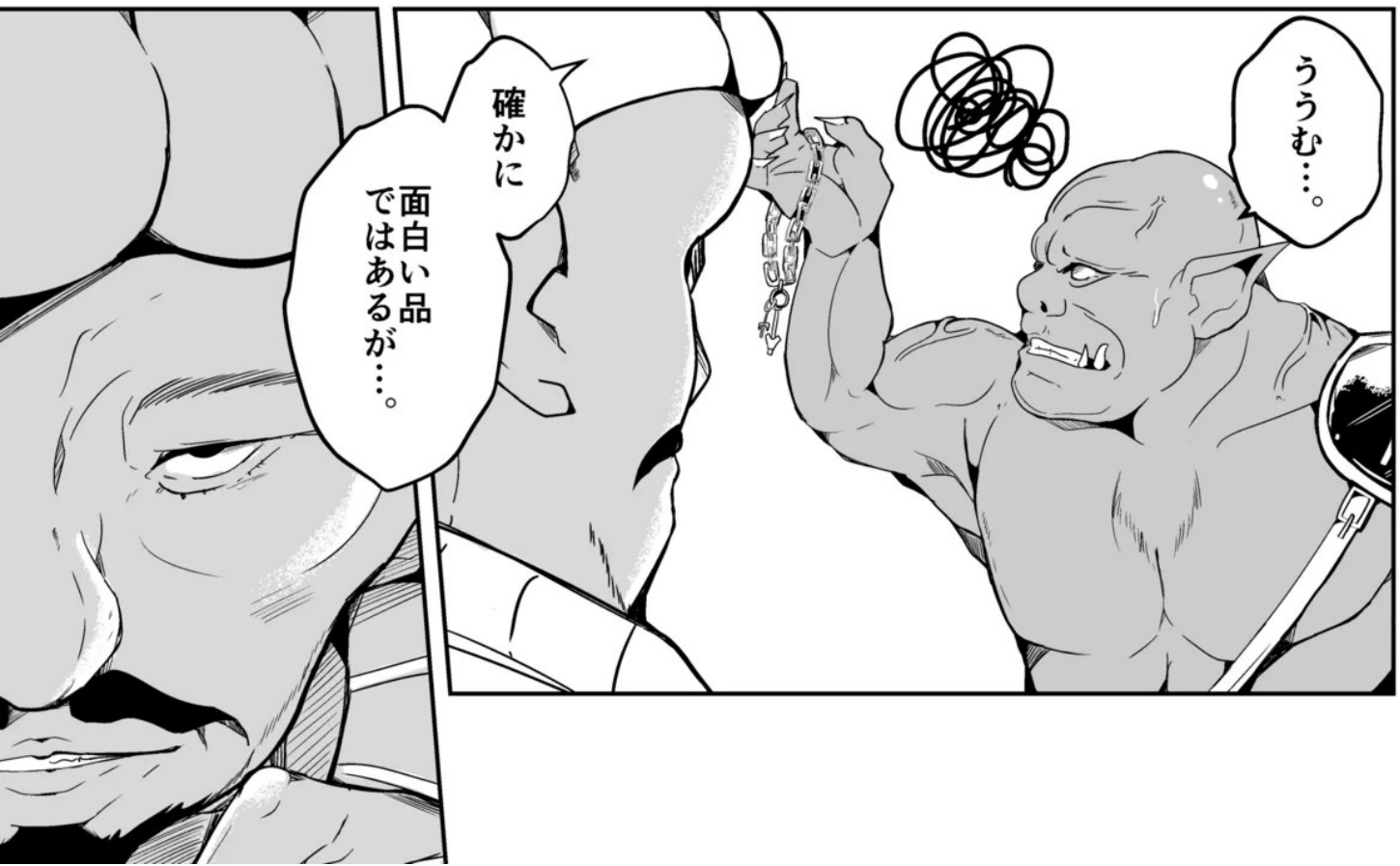
♂⇔♀
入れ替わり

交姦

～エルフの王女になったオークの物語～


つまり
このペンダントを
かけたもの同士の
身体が
入れ替わる
という事か？
ええ。
そうです。


これは
古代の魔術が
込められており
唯一魔術が
使える
エルフ族ですら
解除不可能な
代物です。
なるほど…。


ううむ…。
確かに
面白い品
ではあるが…。


あなたたちオークは
強い力が
ありながら
エルフの
魔力の前に
屈するしかない。
故にエルフが
独占する資源に
手を出せない。
喉から手が
出るほどに
欲しいでしょうに。
あぁ。


それは
我々人間も
同じです。
彼らは
他の種族との
干渉を
一切しませんから
交易もままならず…。
うむ。


やつらは他種族を
文化的に
劣っていると
見下している
からなぁ…。
そこで、
族長さん。


私から
提案があります。
提案？


えぇ。
あなたたちの誰かがエルフの女王と入れ替わるのです。
そうすれば、交易の開放どころかエルフを征する事も可能でしょう。
我々は分け前として資源と女を融通していただければ構いません。
魔力が扱えない若いエルフの女は非常に高値で取引されますからね。
族長さんもエルフの女に興味ありますでしょう？


我が息子、モリブよ。
さっきの話、聞いておったな？
は、はぁ。
お前がやるんだ。
えっ？おでが…？


はぁ。
まいったべ…。

モリブさん。
あまり乗り気じゃないですね。
そりゃおで女になるなんて嫌だよ。
それはもったいない！
この世界を牛耳れるチャンスなのに。
どういう事だべ？
いいですか。
エルフといえばあらゆる生物の頂点的な存在。
TOP!
その王女になるんですよ。
それはつまり、この世を統括する事と同じです。
でも、おで頭良くないし。親父にも頭上がらなくて。
それにやっぱ女になるってのは…
10倍です。
…？


知ってました？
女性の快感は
男性のそれの
10倍以上と
言われるんです。
そしてその中でも
エルフは更に
感度が高いんだとか。


考えても
みてください。
女って、
セックスしてる時
明らかに男よりも
気持ちよさそう
でしょう？
あんなにも喘いで
痙攣するほど感じて…
女の快感、
知りたくないですか？
気になるけど
でも…


それ
本当だべ？
ええ。
私の
言うとおりに
すれば
大丈夫です。


何度も言っているでしょう。
私たちの魔法は門外不出。
交易は行いません。
その為に他種族との交流は一切を禁じております。
…どういう事ですか？
はい。
知ってるだべ…です。
それ故に今回ご挨拶に伺ったのですだべ。
イライラ


これは？
わからないだべ。
たまたま
近くで
拾ったのですが
タダならぬ魔力を
感じまして。

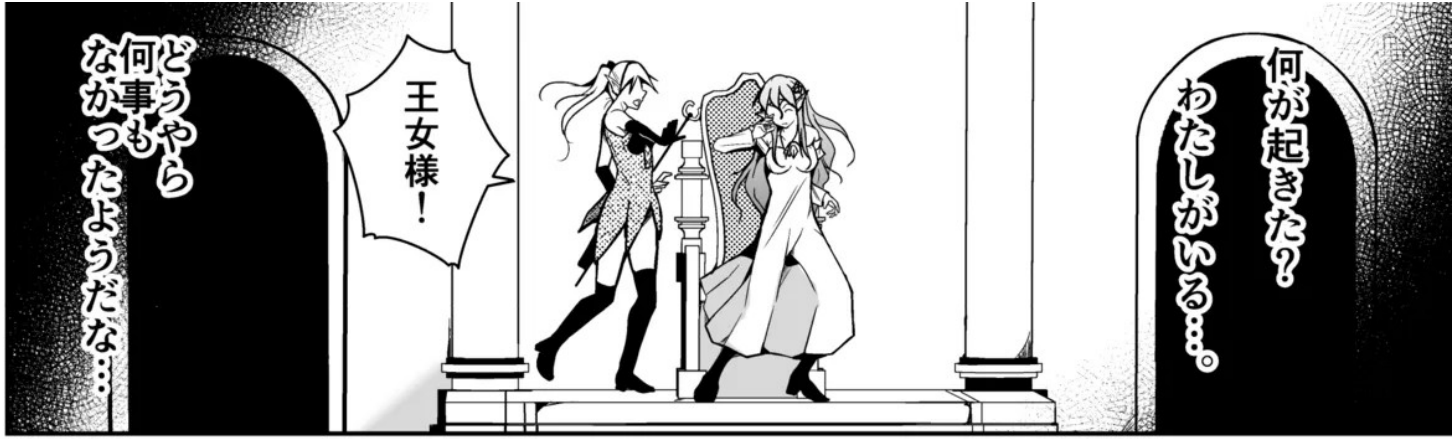

恐らく
あなた様一族の物と
思われますから
返却にお伺いしたのです。
なるほど。
そうでしたか。
確かに強い魔力を
感じますね。
これを
解析する事で
我らの魔術が
漏洩する可能性も…。
はい。

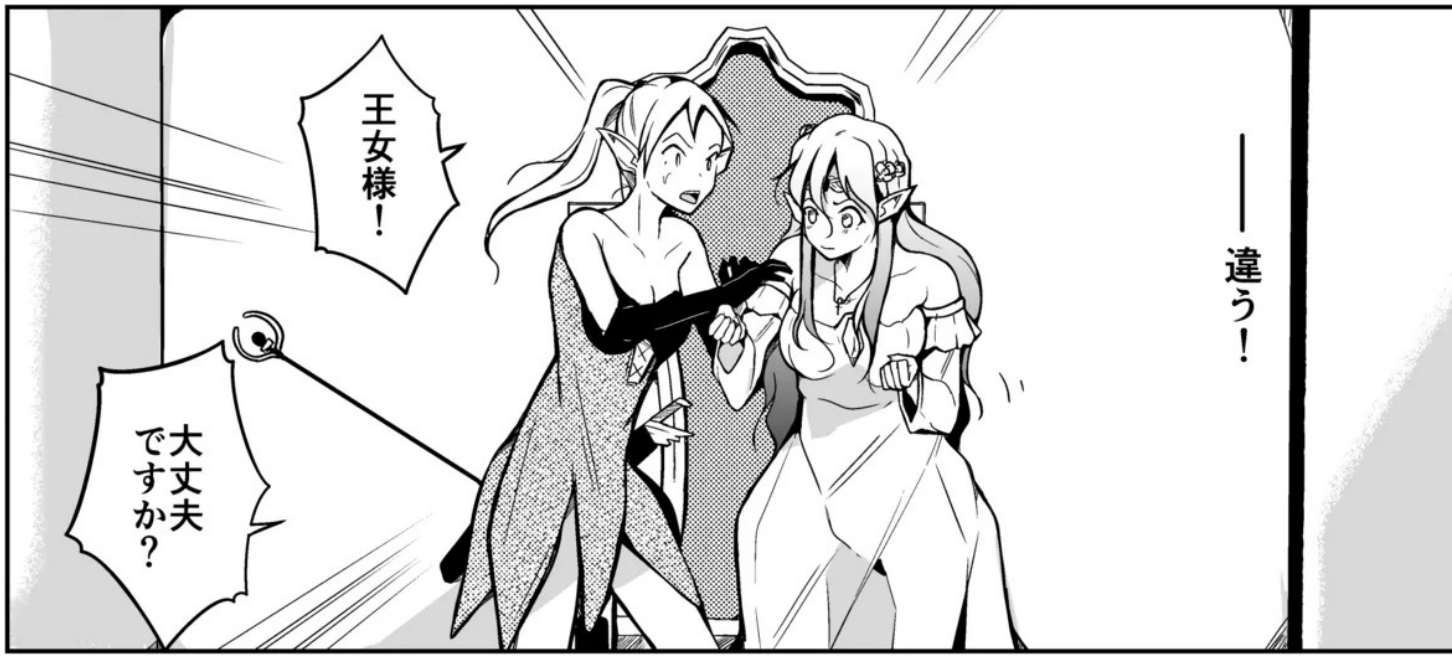

ちなみに
最も強い魔力を
感じましたのは
装着した時でした。
エルフ一の魔力を
持つとされる
王女様なら
何かわかるかも。
一度、そ、装備
されてみては…？
キャッ
ふむ。
なるほど。


なんだこれは？
ぐふふ。
共鳴している？
ド
ド
ド
ド
ド
ド
ド
し…
しまった…っ！






何が起きた？
わたしがいる…。
王女様！
どうやら
何事も
なかったようだな…


王女様！
大丈夫
ですか？
――違う！


なぜ、
私がそこにいる？
なぜ、
私が私を見ている？
うひ。
うひひ。


ま、まさか。


本当に入れ替わったべ。
ぐへへ。
とわ
とわ
身体を入れ替えたのか？
うへへへ。
？
…王女様？
…おっと。喜ぶのはまだだべ。ここからは練習した通りに！


大丈夫です。
私は無事です。
しかし、これは…
恐ろしい。
とてつもない
魔力を感じます。
貴様！
王女様に何を
しようとした！
皆の者！
騙されるな！
身体を
入れ替えられた！
私が王女だ！
そんな嘘、
通用するとでも？
そんなものが
この世に
存在するわけが
ないでしょう？
我々ですら
作れないものを
オーク風情が
持っているとでも？
このものを牢へ！
はっ！
…ぐっ！


王女さん、
何とも醜い姿に
なっちまったべなぁ～。
こんなに
あっさり成功するとは
思わなかったべ。
商人さんが
エルフはオークを
見下してるから
油断していると
言ってたけど
その通り
だったべ。
ぐへへ。


なるほど、
人間の入れ知恵か。
台本通り
上手く演技できたって
とこなのかしら？
流石は元王女様、
よくわかるだべなぁ。


でも、そんな
言葉づかいじゃ
ばれるのも
時間の問題ね。
今なら命だけは
とらないで
あげるから
元に戻しなさい。


アンタ立場がわかってないだべな。
この身体はおでのものなんだべ。
だからこんな事してもアンタに何も言われる筋合いもないし
だから、そうやって強がっていられるのも今のうちなんだべ…んっ。
ぷるるん
むほ～！良い身体してるべ～。
や、やめなさい！
本当に殺すわよ！
アンタの命だっておで次第。
もみもみ
れろ～～♡


知ってるだべか？
10倍。
女は男の10倍の感じるんだべ。
商人さんが言ってただべ。
？
うひひ…
だから、おで今から
確かめるんだべなぁ～。
や、やめなさい！


うひょー。
これが女の…おまんこ。
チンコが無くてホントにツルツルだべ。
…でも、良く見えないべ。


よっと。
これで見やすくなったべ。
なんか豆みたいな膨らみ。
ここさわると気持ちいいべ。
スリスリ
クリッ
うほっ！
おほっ！


ふん！
おらっ！
ふんっ！
んー。
やりかたが
悪いだべか？


気持ちいいけど
10倍って
感じは
しないだべなぁ。


あ、そうだ。
良い事
思いついただべ。
アンタ、
おでのここ
舐めて
くれないだべか？
女だったんなら
どうすれば
気持ち良いかわかるだべ？
おで、
あったまいい～。


…っ！
だから何度も言ってるだべ。
立場をわきまえるだべよ。


それにこの感じ。
王女様も興味津々なんだべな。
これは貴様の身体がっ！
うぐっ！


ぐへへへ。違わないだべ。
ちがっ！
さぁ！
ハッ
ハ～ッ
舐めるだべ！


なんたる失態！
なんたる屈辱！
そうそう。
余計な事
するんじゃないだべよ。
そうか。
力任せにやったら
ダメだったんだべなぁ…。
流石に元自分の身体の
扱い上手だべな…ぁっ。
あんっ
女みたいな声…
でちゃう…だべ…
…んっ❤
傷つけて困るのは
あんただべ…
うっ…
ん…
自分で
やってた時とは
全然違う。
こんなオークごときに
私の高潔な身体を…
なんだこれは…
どうして私は…
こんな状態で


自分の身体に欲情しているのだ？
すご…なにか…
ビクッ
ビクッ
おっ
あぁあっ
くるだべえええええ!!


これが、女の絶頂？
凄いだべ…
ガク
あ…っ！
おまんこが求めている？
もっと気持ちよくなれるだべ？
ヒク
ヒクッ
はうっ！
この記憶は…
本番やってないのにこれだなんて…
あっ…あ
ガク


パサ…
ジッ
カチャッ
あなたのここも
そろそろ限界でしょう？
解錠してあげたから好きにすると良いわ。
ふふふ。
な、なんで魔法を…
それにこの口調まるで私…？


ふふ。
気づいた？
さっき
イッた時に
あなたの記憶が
読めるように
なったの。
仕草、口調
そして
能力も
自由に
使えるのよ。
ほふふーん♡
こ、これは
魅了魔法（チャーム）？
記憶
だけじゃない。
さぁ。
私を楽しませて？
ぱのぱのぱー
そのたくましい
おちんちんで。


卑怯よ！
魔法を使うなんて。
良く言えたわね。
あなたは支配してきたじゃない。
ダメ！とまらない！
その卑怯な魔法で、ね。
この膨張したものを挿入したくて
だってこんなにも
そう。
挿入れなさい。
魅力的なんだもの。
私…

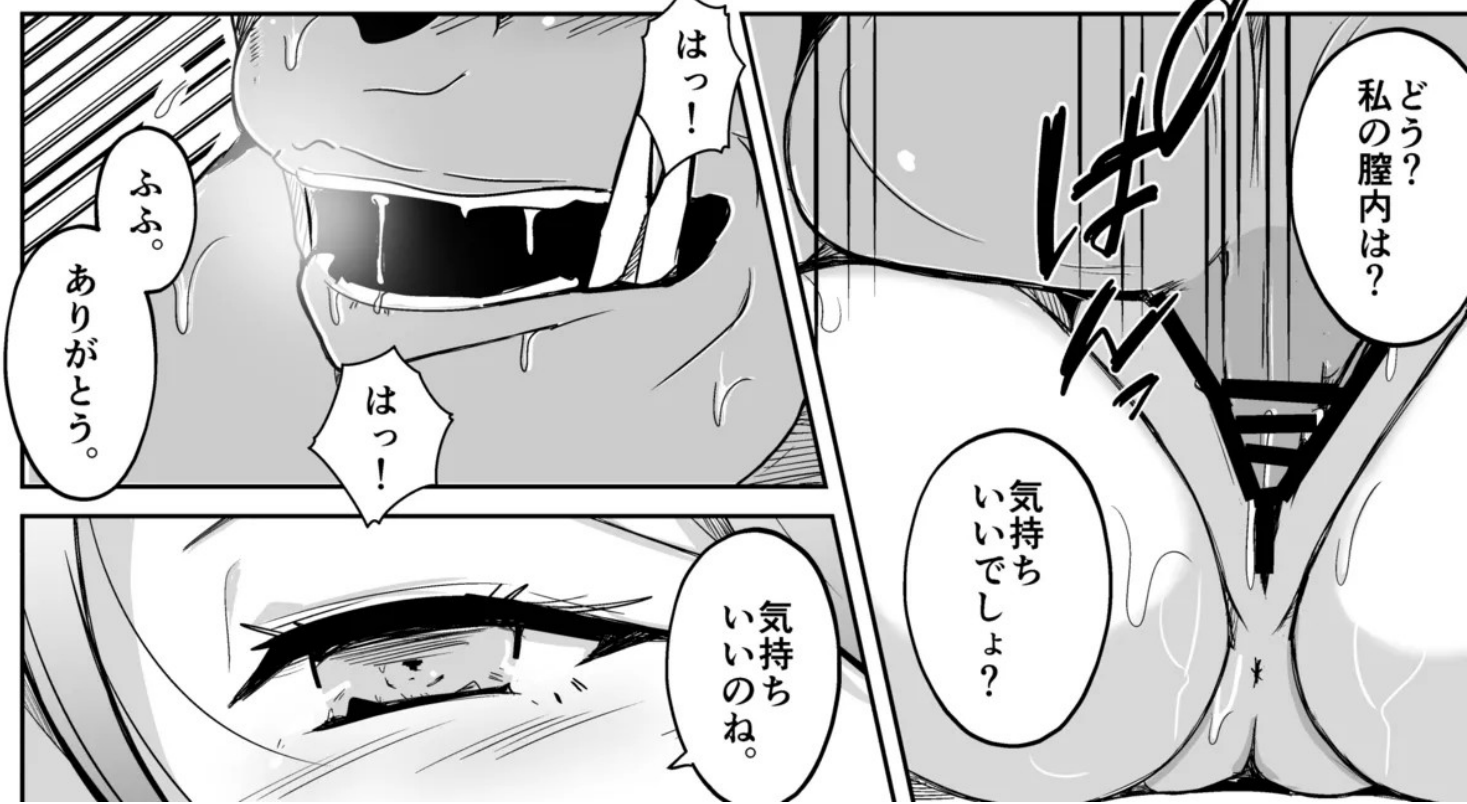

高貴なエルフが異種族の…
しかもオークなどと言う下等種と交わるなんて
最大の汚点を
あなた自身の手で作るのよ！
ズボッ
おっほぉ！
おちんちんきたぁぁぁっ❤


あっ！
んっ！
これは！
なんという
大きさ！
圧迫感！
ふっ！
これが
挿入られる感覚っ！
おんなの…
快感っ！
ズプッ
ズプッ


こ…
こんな事
もうやめてっ！
ふふ。
いつまで勘違い
しているのかしら？
？


私は一度も
魅了魔法(チャーム)なんて
使っていないわよ。
使ったふりを
しただけ。
そんな事！
現に今私は…
あなたは
男の性欲に
屈したのに
それを
魔法のせいだと
言い訳してるのよ。
違うっ！


そんな事！
嘘！
わたしは…
あっ❤
オークチンポ。
最高よ…❤
わたしは…
ズリ
ズリ
ズリッ
んっ❤
あなたたちは
下劣だけど
んんっ❤
このたくましい
チンポだけは
認めて
あげて良くてよ。
おっ❤
光栄に
思いなさい。


どう？
私の膣内は？
ぱんっ
気持ち
いいでしょ？
はっ！
ふふ。
ありがとう。
はっ！
気持ち
いいのね。


そのまま射精しちゃいなさい。
だめぇぇぇえっ！とまってぇぇ！
元、自分の身体にね！
あっ♥
んぐッ
あぁぁぁぁぁぁぁぁッ♥
なんて…
取り返しのつかない事を…。


これであなたも私の記憶が見えるようになったでしょう？
あなたたちオークが私たちエルフをどんな目で見ていたのか。
ぐふふ。
エルフだ…！
始まったわね。
記憶だけじゃない。
エルフの王女とおでは…セックスを…
くぱぁ
思考、言動、仕草…すべてが元の私に塗り替えられていく。
でも安心なさい。
あなたがあなたであった認識は残るから。
ただ、
ズッ


脳の構造はオークになる。
だから
高度な思考も能力も感受性も
んぅ
んっ♡
すべて靄がかかったように使えない。
下等種と罵った存在そのものにあなたがなるのだから。
ぱんぱんぱんぱん
パーン
あん


おでにそんな難しい事言われてもわかんないだべ！
エルフの王女様とセックスしている！
ハーッ
ハァ
んっ❤
あっ❤
それが気持ちいいから続けるだけだべ！
ふふ。そうね。
こんな事、最初で最後だものね。
存分に楽しみなさい。
元の自分の身体を❤
はっ❤
はっ❤



とめどなく押し寄せる快感！

そして心を身体を重ねる程に積み重なっていく快感の堰！

新しく迎え入れる女という性を！

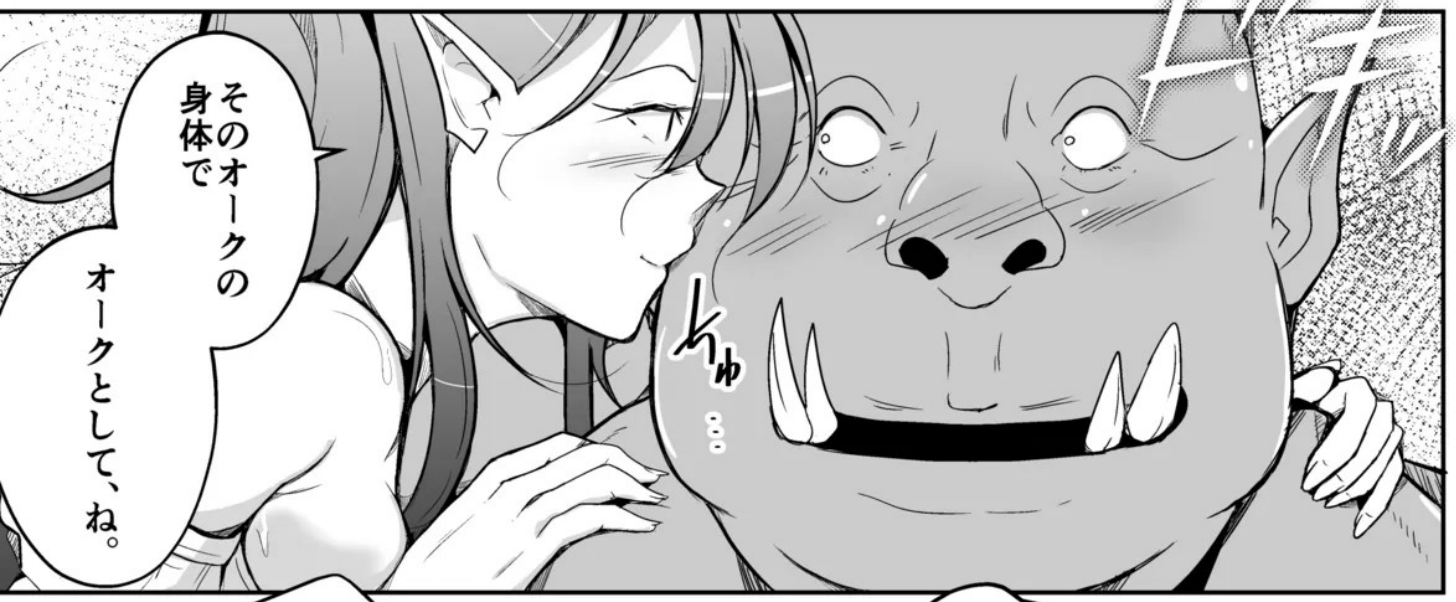
10倍だなんて嘘。

この積み重なっていく快感に際限なんてあるの？




私は今、
地位、名誉、美貌
これが女の絶頂〜〜ッ
おあぁっ
じゃるるるるっ
そして、快楽❤❤
全てを…っ❤


あなたは処刑しないでおくわ。
エルフの王女でありながら
一族を汚した大罪人として
一生を償いなさい。


そのオークの身体で
オークとして、ね。


ぐへへ。
おで、王女様にキスされ…
あれ？でも、王女様はおでのはず？
おではおでなのに混乱してきたべ。
そっか
おで身体を入れ替えられたんだべ。


大罪を犯したオーク一族の長よ。
正義の名のもとに貴様たち一族を滅ぼす！
ぐっ…！どういう事だ！
作戦は失敗したのか？
いいえ。大成功したわよ。
おかげで私は欲しいものをすべて手に入れた。
そして今から
あなたに最後の孝行を、ね。
ま、待て！
お前！
モリブではないのか？


もう、その名で呼ぶでない！
私は気高きエルフの王女ラピス！
あなた、エルフの女に興味があると言ってましたわよね？
あなたには恨みもありますが感謝してます。
今の地位があるのはあなたのおかげですから。
だから殺しはしません。
…ところで父上。
なってみると良いわ。
ま、まさか！
や、やめろ!!
私からの最後の孝行よ。


ガタ
ガタ
ゴト
ゴト
エルフの娼婦として
うあああああっ!!
なんだこれは！
私も交易の独占権を得たし大儲けできそうです。
モリブさん。
上手くやったみたいですね。
楽しみなさい。これからの人生を

交姦

～エルフの王女になったオークの物語～

2023/04/08
交姦
～エルフの王女になったオークの物語～

著者:いわした
pixiv:14897019
twitter:iwashitan
web:https://www.iwashitan.com